

川岸地区山林火災復旧事業説明会 及び第4回新倉山復旧協議会次第

日時：平成28年9月6日（火）19：00～
場所：川岸支所2階講堂

1 開会

2 挨拶

3 内容

（1）復旧事業説明会

- ・ 林業専用道大洞線について（資料①）

- ・ 治山事業について（資料②）

（2）復旧協議会

- ・ 火災で枯損した森林の復旧方法について（資料③）

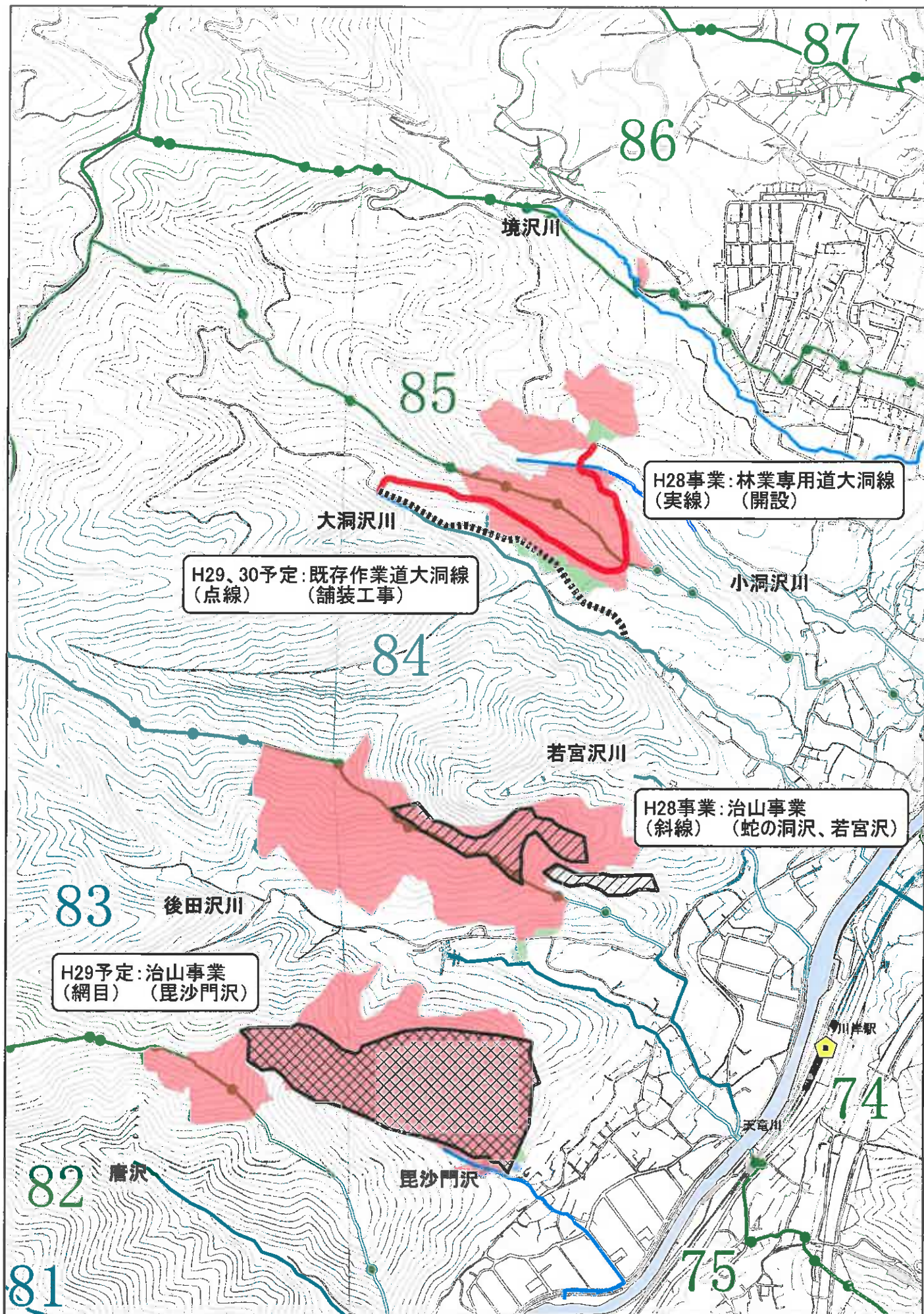
（3）今後の予定

4 その他

5 閉会

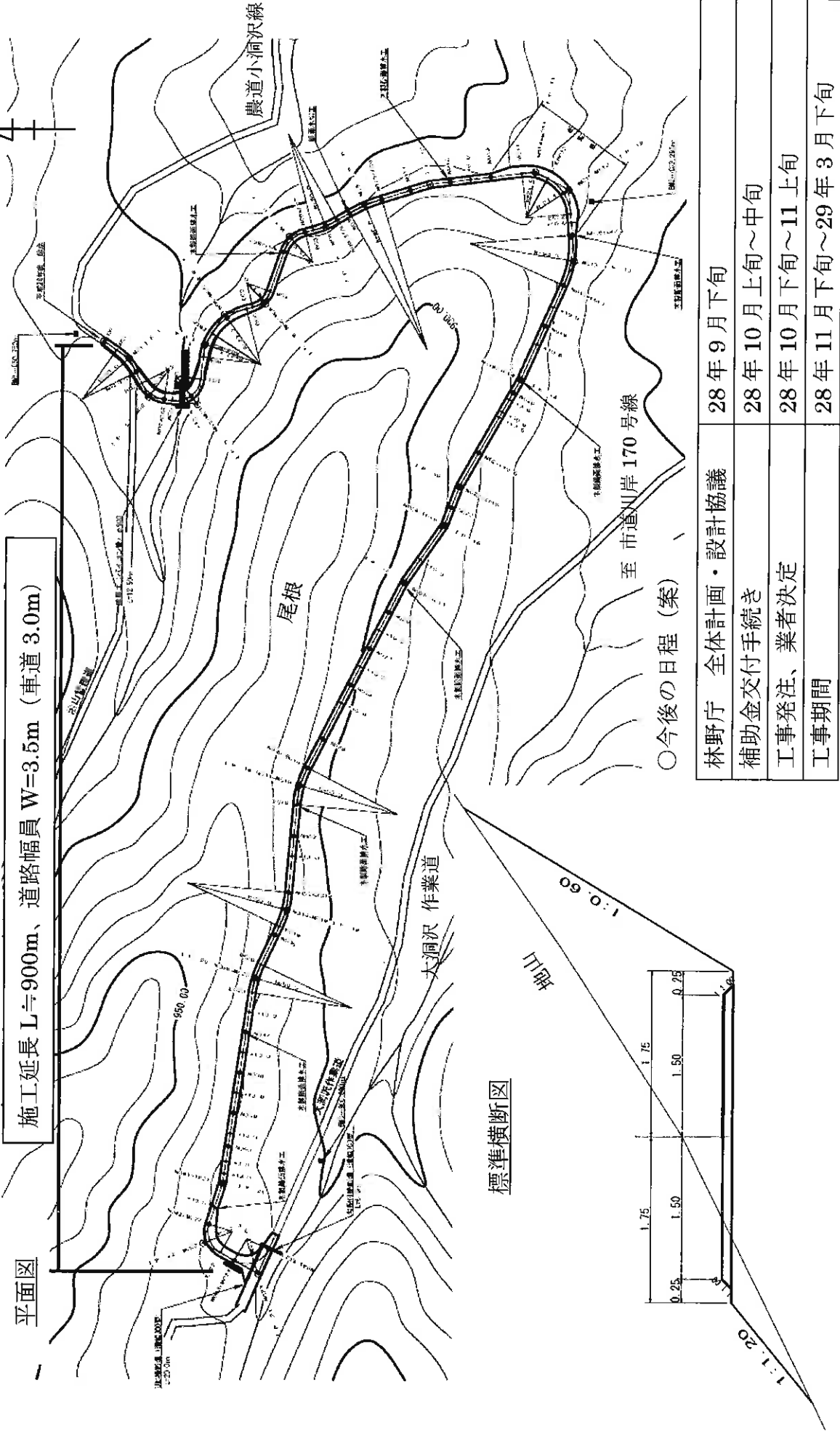
岡谷市川岸地区山林火災復旧事業

1:10,000



28年度 林業専用道 大洞線開設工事について

○H28年度整備概要

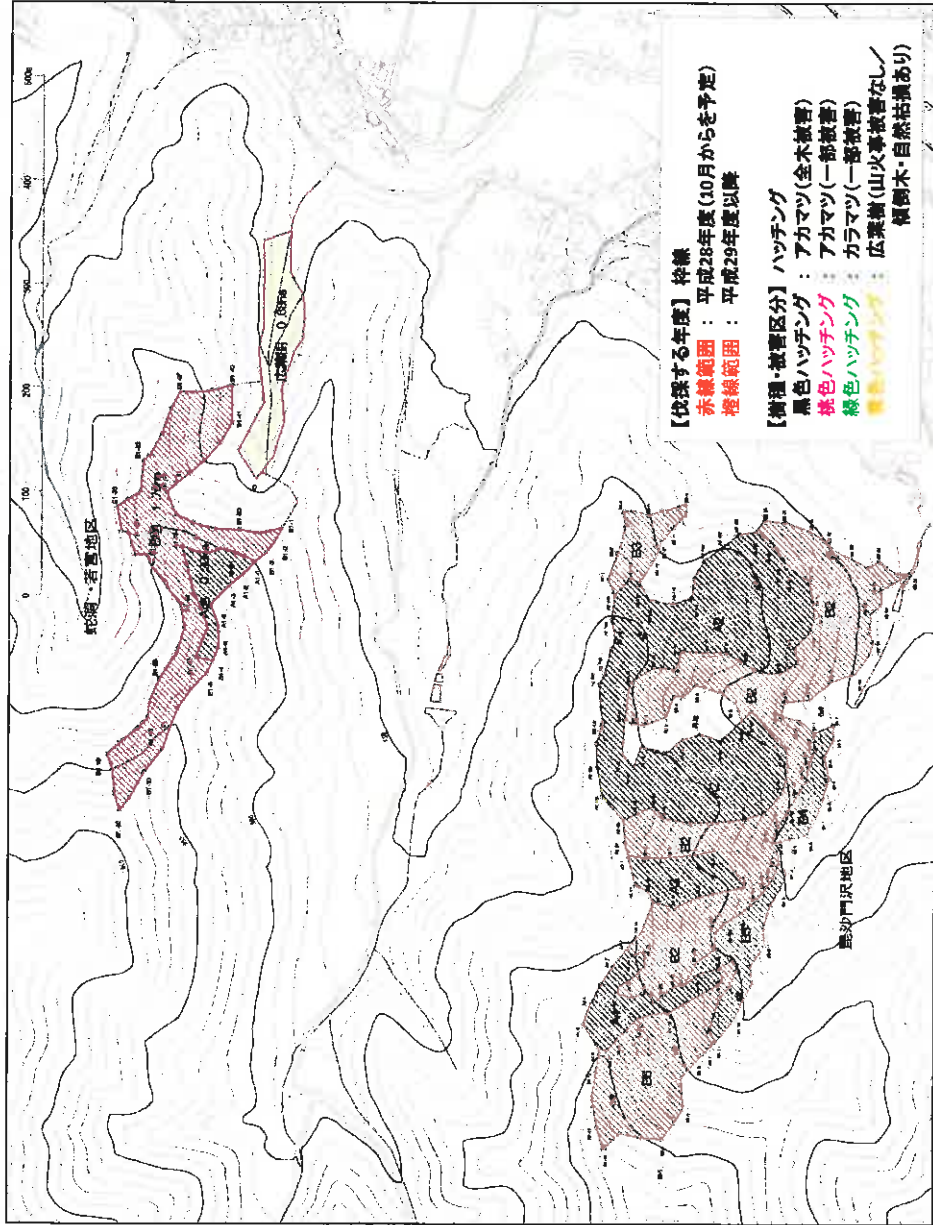


○今後の日程 (案)

林野庁 全体計画・設計協議	28年9月下旬
補助金交付手続き	28年10月上旬~中旬
工事発注、業者決定	28年10月下旬~11月上旬
工事期間	28年11月下旬~29年3月下旬

治山事業について（平成28年度～平成30年度（予定） 防災林造成事業）

資料 ②



整備方針

地区	樹種・被害区分	面積	現在の本数	整備内容	伐採の程度
蛇洞・若宮	アカマツ(全木被害)	0.30ha	枯損 2,000本/ha 生存 0本/ha	枯損木の伐採を行います。	伐採木 2,000本/ha 残存木 0本/ha
	アカマツ(一部被害)	1.76ha	枯損 280本/ha 生存 800本/ha	枯損木の伐採を行います。 現時点で生存しているアカマツは伐採します。	伐採木 490本/ha 残存木 540本/ha
	広葉樹(山火事被害なし/傾倒木・自然枯損あり)	0.68ha	枯損 150本/ha 生存 400本/ha	枯損木、傾倒木の伐採を行います。	伐採木 200本/ha 残存木 350本/ha
毘沙門沢	アカマツ(全木被害)	4.09ha	枯損 1,080本/ha 生存 0本/ha	枯損木の伐採を行います。	伐採木 1,080本/ha 残存木 0本/ha
	アカマツ(一部被害)	4.75ha	枯損 280本/ha 生存 800本/ha	枯損木の伐採を行います。 現時点で生存しているアカマツは伐採します。	伐採木 490本/ha 残存木 540本/ha
	カラマツ(一部被害)	0.68ha	枯損 650本/ha 生存 800本/ha	枯損木の伐採を行います。 現時点で生存しているカラマツは伐採します。	伐採木 900本/ha 残存木 550本/ha

※ いずれも伐採木は1.5m～2.0m程度に玉切りし、ある程度まとめて集積します。集積の際は、杭を打つなどして、流出防止対策を図ります。（右写真参照）
 ※ 後継樹（コナラ、カエデ、サクラ、アカマツ）が自然に生え始める傾向があるため、しばらく様子を見てから植栽の必要性を判断します。（植栽する場合は平成30年度を予定。）

火災で枯損した森林の復旧方法について

1 森林再生の方法(更新方法)

(1)人工更新(人工造林(植林))

苗木を植えて育て、森林再生する方法。

(スギ、ヒノキ、カラマツ、アカマツ、コナラなど)

(2)天然更新

天然発生する樹種(自然発生樹種)を育て、森林再生する方法。

○実生更新

地上に散布された種子や、地中で休眠していた種子(埋土種子)が発芽し、成長して森林化する。(アカマツ、コナラなど)

○萌芽更新

生き残った根株や根から芽を出し、成長して森林化する。

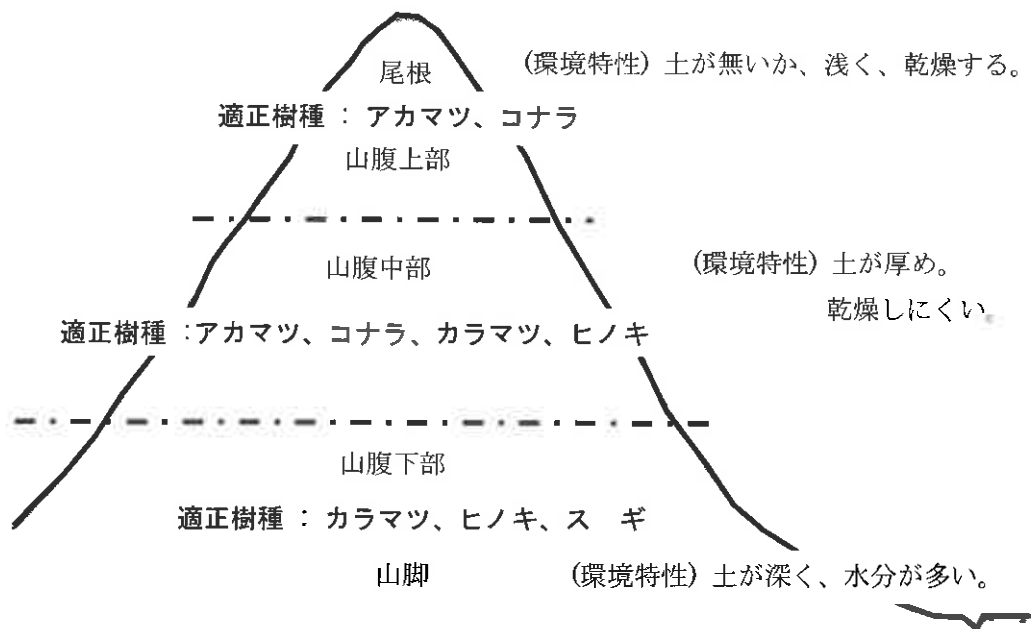
アカマツなど針葉樹類では困難(不可能)。

2 被災森林の環境と適正樹種

(1) 地形と樹種 図-(1)

(2) 斜面方位と樹種 図-(2)

(1) 山腹位置と適正樹種



(2) 山腹方位(山の向き)と適正樹種

